

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 見附わくわくフレンズ		公表日		2024年 9月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	施設があまり大きくない分、なるべく晴れている日は外に出て体を動かす機会を作っています。	個室をうまく使い、落ち着いた遊びをしたい人、などの用途ごとに分け、全員が過ごしやすい環境を整えたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	今年から常勤職員を一人増やし、配置数は毎日余裕のある状態で運営しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	細かいものや刃物類は必ず鍵付きの棚に収納しています。	バリアフリーについてはまだ段差や手すりなどが少ないため、今後検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	清掃、消毒は毎日行っています。また、ホワイトボードに掲示する内容も簡潔にわかりやすく掲示するようにしています。	個室がある分、死角が多いため、職員がいる場所などを検討していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個室が二つあるため、クールダウンしたい、ひとりでゆっくりしたい時の場所として使えるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	定例会議の際に次月の個別支援計画の共有をするように心がけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者様との面談でのご意見や要望は職員間で共有し、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎月の会議を通して意見交換を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	月1回、会社側の施設長と会議をする機会があり、そこで現状の報告などを共有したり意見をもらう機会を設けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	積極的に研修に参加するようにしている。	参加できていない職員もあるため、今後は積極的に呼びかけるようにしていく。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	どのような療育に力を入れているかをHPやSNSで公表している。	HPが見にくいため、現在改善をしている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者様との面談内容を職員間で共有し、要望やできるようになってほしいことを明確に計画に取り入れられるようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	月1回の定例会議の際に共有と修正を行うようにしている。	時間が十分に取れないこともあるので時間に余裕をもって検討していきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員全体で利用者の状態などを共有することで様々な方向からの意見が得られ、計画に反映できている。 連絡帳に支援計画が記載されているため、常に職員間で見る事が出来るようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	地域連携についてはなかなかできていない。	地域の人とかかわりを増やしていけるようなプログラムを今後作成していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	必ずパートさんを含めた職員全員で会議を行い、活動が偏らないようにしている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎回長期休みの時は利用時間が長いため、なるべく外に出たり調理実習の計画を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	月の半分は個別療育ができる計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	その日の送迎や役割分担などを支援前に全職員に周知する時間を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	ひとりひとりの振り返りを行い、次はこのような支援をする、ということ職員間で共有する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	振り返りの際は必ず記録を取り、いつでも見返せるよう工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	個別支援計画と照らし合わせた連絡帳を使用しているため、できた、できなかったの振り返りが毎日できるようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	自由活動や集団活動、個別の療育など、メリハリをつけて活動に取り組めるようにしている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	選択はもちろん、時計を見て自分から積極的に行動したりできるような声かけを意識している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	会議には必ず児発管が参加するようにしている。会議前には全職員で会議を行い、その方の状態などを共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	相談支援事業所の方や学校などを連携を取り、わくわく施設内だけでなく様々な関係機関と相談しながら支援するようにしている。	関係医療機関とは相談支援事業所や保護者の方からの伝達が多いため、今後は連携を図りたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	毎月利用児童の名簿を渡し、共有を行っています。また、学校によっては下校時刻を送っていただき、ありがたい。	もう少し学校での様子を聞く機会などが取れるように今後検討していきたいです。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7	相談支援事業所や保護者からの引き継ぎは多いが、幼稚園自体からの引き継ぎはある人の方が少ない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	卒業した人がいないため引き継ぎをしたことがない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	事業所で解決できない悩みなどは、相談支援事業所や学校の方に助言をもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	外活動の際に会う時はあるが、小集団での集団行動ができるようになってからの活動だと思うため積極的に活動に取り入れることはまだしていない。	少しの時間でも関わりが持てるといい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	職員間でも周知している人としていない人の差が見られた。	なかなか参加することに対して周知されていないため、今後積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎の際に保護者の方と話す機会を設けたり、対応が同じ職員に偏らないよう工夫しています。	これからも支援者と保護者のニーズがあっているかを確認しながらよりよい支援をしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	ペアレントトレーニングまで実施できていない。	職員全体で研修を受けながら保護者会などで実践していきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約の際の説明で説明を行っている。	アンケートではなかなか周知していない人もいたため、定期的に説明する場があったほうがいいか検討していく。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者の方の要望やできるようにしてほしいことに加えて、利用者がどうなりたいかを		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	聞き取り、支援計画に反映できるように心がけている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	送迎や面談の際に聞いた悩みなどを支援に生かせるように職員間で共有し、保護者の方へ伝達するようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会や、きょうだいと一緒に参加できる行事を開催している。	保護者会はお母さんの参加が多いため、お父さんも参加しやすいイベントも今後考えていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	今年度苦情がきたことがないが、来た時は第三者委員の人と苦情受付係を設置しているため、その方と職員間で共有し改善していく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	インスタなどの更新をして日々の活動やプログラミング療育の様子を投稿したり、保護者様にアルバムを作って写真の共有をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付きの戸棚で保管、フェイスシートの見直しや個人の名前が入っている書類に関しては中身が見えないファイルを使用している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	LINEを使用し、常に保護者の方と連絡が取れる体制を整えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	利用者の家族を交えて行事をすることはあるが、地域の人との交流はなかなかできていない。	地域の人を招待する活動に関しては、個人情報などの点にも留意して今後の活動を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	避難訓練は必ず毎月行うようにしている。	アンケートでの意見もあったが、保護者への周知がまだ上手くできていないため、SNS等も通して発信できるようにしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	月1回避難訓練をしたり、非常食や防災リュックの備えと点検を定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	職員全体でてんかんの研修を受け、そのような状況になったときのマニュアルを作成し、保護者に伝達している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	アレルギーの利用者もいるため、おやつに何を出したかを常に記録している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	避難経路や物品の整備、駐車場の草取り、冬の大雪の際の営業の仕方、長期休みの際に使うプールなどの点検などを行い、利用者が安全に過ごせるような環境作りをしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	起きたその日にヒヤリハット作成や職員間の共有を行い、再発防止の会議を行うようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	職員でマニュアルの確認をすることや、積極的に研修に行っている。	全職員が同じくらいの数研修にいけるようにしていきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束が必要な利用者がいないが、そうなったときのマニュアルは作成し共有している。		